

# 酸化プロピレン等・C<sub>3</sub>H<sub>6</sub>O

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<p>○適切な呼吸器保護具（有機ガス用防毒マスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護眼鏡、ゴーグル型、全面保護眼鏡）、適切な保護衣（長袖作業衣）を着用すること。</p>	<p>○飲み込んだ場合…口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。</p> <p>○眼に入った場合…水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。</p> <p>○皮膚に付着した場合…皮膚を流水、シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。汚染された衣類をすべて脱ぐこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。</p>	<p>○吸入した場合…気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。</p> <p>○皮膚に付着した場合…皮膚を流水、シャワーで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。汚染された衣類をすべて脱ぐこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。</p> <p>○使用前に取扱説明書を読み理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>○貯蔵しないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>○作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。</p> <p>○消防火法・高圧ガス保安法の規定に従う。</p> <p>○熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。</p> <p>○容器を密閉しておくこと。</p> <p>○容器を接地すること、アースをとること。</p> <p>○防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。</p> <p>○火花を発生させない工具を使用すること。</p> <p>○静電気放電に対する予防措置を講ずること。</p> <p>○取り扱い後にはよく手を洗うこと。</p> <p>○この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。</p> <p>○ミスト、蒸気、スプレアの吸入を避けること。</p> <p>○屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。</p> <p>○汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p>	<p>○飲み込むと有害（咽頭痛）</p> <p>○皮膚に接触すると有害（発赤）</p> <p>○吸入すると有害（咳、咽頭痛）</p> <p>○皮膚刺激</p> <p>○重篤な眼の損傷（発赤、痛み）</p> <p>○アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ</p> <p>○遺伝性疾患のおそれの疑い</p> <p>○発がんのおそれの疑い</p> <p>○生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い</p> <p>○呼吸器への刺激のおそれ</p> <p>○眠気又はめまいのおそれ</p> <p>○水生生物に有害</p>